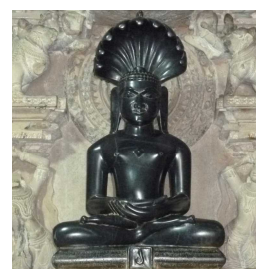


老後八戒

一

歳をとつたら出しゃばらず  
他人さまには花持たせ  
自慢ばなしに泣き言に  
陰口告げ口愚痴いわず  
おおきに、すまん、よろしくや  
知ってることも知らん顔  
いつでもアホでいるこっちゃ



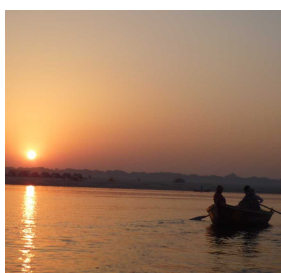
二

今は昔の夢を追ひ  
やりたいことをやるからと  
好みの人がいるからと  
なんぼ気張って力んでも  
体がいうことききまへん  
未練とさどつてしまひこむ  
そんな気持ちになるこっちゃ



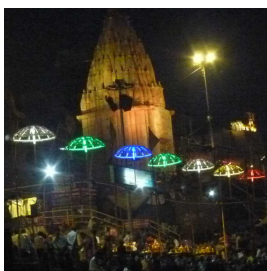
三

花は桜と時知りて  
めでたく退いたそのあとは  
自適の暮らしが肝心や  
足腰立つなら立つうちに  
身のため世のため人のため  
門(かど)はき水撒き草むしり  
何でも気安くするこっちゃ



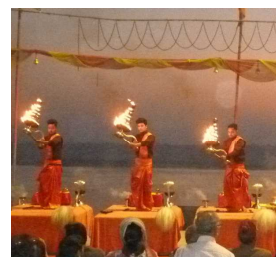
四

お金の欲は捨てなはれ  
なんぼゼニカネ残しても  
あの世に持つてはいけまへん  
この世でちゃんと使い切り  
ええ人やった、惜しかった  
そないにみなからいわれるよう  
ちよつとは徳を積むこっちゃ



五

せやけどこれは表向き  
三途の川でもカネが要る  
それはきちんと別に分け  
肌身離さず持ちなはれ  
倅に先に死なれたら、  
嫁から縁を切られたら、  
これにも備えておくこっちゃ



六

なんでもものはほどほどや  
長生きするのほどほどや  
ポックリ逝ければいいけれど  
そうは問屋がおろしまへん  
おむつで寝たきりイヤならば  
医者のはしごはやめに  
問屋に胡麻をするこっちゃ



七

医者にかからず酒飲まず  
タバコすわらずに暮らしても  
長生きしたらみなボケる  
そうなる前にしつかりと  
チューブを入れるか入れないか  
輸血を受けるか受けないか  
一筆書いておくこっちゃ



八

わが子に孫に世間さま  
ご先祖さまにも疎まれぬ  
ええ年寄りになりなはれ  
ほんならボケても安心や  
いずれ迎えが来た日には  
南無阿弥陀仏の一念に  
すがって往生するこっちゃ

